

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：宗田 市太郎 幹事：平尾 信明

情報委員長：清水 忠

1977・6月16日 第92号



“なれとけじめ”

石川県繊維課長 喜田 惣一郎 氏

“けじめ”を辞書で紐解くと〈区別、隔て、仕切〉など区切をつけるという意味がある。

数年前、ある町役場に“すぐやる課”が設けられた。

電話での苦情や要望を即、処理するという行政のサービス化を意図したもので、全国へも波及した。しかし、一個人でも解決処理出来ることをその都度、市の職員が出向しなければならないという、つまり行政と個人のけじめの問題も当然のように出て来た。

人間関係では、古来よりけじめは必要であった。当時は集団生活であり、そこには必ず、リーダーがいて、それは強者と弱者との歴然としたけじめが存在していた。

それが封建時代に入っても、多少格付のような横のけじめはあったにしても、支配者を被支配者との関係、つまり上下のけじめが強いられていた。では現代ではどうか。

確かに組織では上下のけじめは生きているが、個人個人の人権に主体を置いた社会であるため、むしろ上下よりも左右、水平方向のけじめが重要視される時代である。つまり上下のけじめで社会を立てて行くのではなく、水平的なけじめをつけて思考する時代である。

観点を変えて考えてみると、自然と人間、日本人と自然の関係において我々日本的感情はその自然、風土と大きな因果関係にあるように思う。日本人は自然と対決して物を考え、探求するのではなく春の霞や秋の霜の様な独楽な美に自ら溶け込むタイプである。

そこに自然とのけじめが敢然としない処があり、又日本人の表現の曖昧さの根本があるように思えてならない。

要は、今の社会では、けじめのハッキリしない方が良い場合も中にはあるが、低成長時代、シビアに物を思考する時、水平的なものの考え方が間違いなく要求されるであろう。

—金沢北RC例会講話より— (文責 米沢修一)

I.C.G.F.に参加して

土原 一二

本年度の第361地区石川県第一分区のI.C.G.F.は河北クラブがホストになって、去る5月15日(日)午後0時半より宇ノ気社会福祉会館で行われた。因ずも職業奉仕委員長の私がフォーラム・リーダーに任命され、びっくりした。

これは1月半ば宗田会長から君を推薦したぞと云われていたが、まさかと思っていたところ、田山ガバナーから任命の辞令をいたされたときは、未熟な私がそんな重大な仕事を出来るのかなあと一時は当惑しました。然し断るわけにもゆかず、柴田先輩にお聞きしたりして、とても心配でした。当日は度胸を決めて2時間程早く打合せの為会場へ行きました。小さな部屋で中田カウンセラー、田山ガバナー、安田・西両バスターガバナー、上田分区代理等のお歴々のそばで話し合ったが、思ったよりリラックスになれたのは、きっと皆さんの御心遣いがあったためだろうと思う。御指示を求めても、君の思う通りにやれよと云って、フォーラムの進行についての順序、手筈を指示される程度でした。フォーラムの形式はバズセッション方式で、参加会員が8個のテーブルに分れて、与えられた二つのテーマについて、各々意見を述べ合った。テーマは



1. ロータリーにおける職業奉仕
「あなたの職場で、どんな奉仕が出来ますか……」
製造部門、流通部門、専門職業部門
その他の部門
2. 青少年奉仕の問題点とその対策
イ. 一般青少年に関する問題(身障者、非行青少年問題を含む)
ロ. ロータリーが実施している青少年の育成問題(青少年交換、その他)
ハ. インターアクト、ローターアクトの問題

私は第一部の職業奉仕についてのフォーラム・リーダーで、先づ職業奉仕についての意見を述べたあと、わが金沢北クラブの委員会の行事を簡単に説明して「お、ロータリアン」の二冊を座右の書として、日夜ロータリアンの道を研修していることを報告し、30分余りのバズセッションの結果を各テーブル・リーダーにまとめて発表してもらい、その大要をメモしました。

第二部の青少年奉仕については

リーダーの半田憲司(小松)君が、ベテランらしく落ち着いてまとめて居られた。この青少年問題も近い将来、当クラブにも必要となってくるものと思い傾聴した。

次に中田カウンセラーは多数の新会員を意識してか、バズセッション方式を詳細に説明し、又職業奉仕はあくまで他の奉仕部門に関連性があるもので、クラブ奉仕の裏付けのある職業奉仕でなければいけない。例えば職業上多忙なために例会を欠席するのでは意味がない。そして商品と満足を売って代金と感謝を受取らなければならない。又奉仕には原則として個人奉仕で、多分に精神的なものでなければならないとか。縷々ロータリアンとしての道を指示された。

田山ガバナーは、企業とは、職業とはについて

1. 本業に徹すること。
2. 地域社会との融合
3. 人間共同体(生活集団)の価値
4. 適正利潤

と極めて丁寧に説明された。

引続き安田バストガバナーは会員の質問に明快に答えられた。たゞ西バストガバナーに対し会員の質問がなかったのは（時間の制限のためか？）いかにも残念であった。職業奉仕については特に高い見識を持って居られると聞いていたのに。

窓外は雨風模様の荒れた天候にひきかえ、会場内は熱気溢れる意見が活発に開陳されて、有意義なフォーラムは、明年のホストの加賀クラブを決定して、予定通り午後3時半頃終了した。

今度のI.C.G.F.は上田分区代理と河北クラブの諸君のお骨折で盛況程に終わったことは誠に同慶の至りです。特に河北クラブは、会長以下数名の方が飛行機事情のため、南太平洋方面の旅行から帰れなく、己むなく欠席された突然のアクシデントに拘らず、終始手際よく進められたのは特に感銘深かった。私個人にとっても、折悪しく左膝をいためて一時はどうなることやらと心配したが、参加15名の当クラブの諸君等の御援助を得て、とにもかくにもリーダーの大任を果し得たことに対し深く感謝の意を表して、I.C.G.F.の御報告と致します。 以上

ロータリーニュース

大場松魚さんを講える会

◆昭和52年5月29日 ホワイトハウスにて

大場さんは、松田権六先生（金沢市出身・芸術院会員・重要無形文化財保持者・文化勲章）の最高弟であり心技に卓越、わが国漆芸界の最高峰をゆく人として、いよいよ期待されています。

大場さんは、去る2月10日、石川県指定無形文化財（工芸技術・加賀蒔絵）保持者に。また4月1日には、金沢美術工芸大学教授にと、重ねての榮譽を得られました。

このたび、金沢北ロータリークラブのメンバーを中心に、大場さんのために、ささやかながら心をこめて、この催しとなった次第ですが、大場さんの偉業に大きな内助を尽くされた夫人、外茂栄さん共々、お2人の益々御健祥でありますよう祈念いたします。



司会 釣 見 栄 一

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. あいさつ | 柴 田 三 郎 |
| 2. 講える言葉 | 越 野 民 男 |
| 3. 記念品の贈呈 | 成 瀬 栄 蔵 |
| 4. あいさつ | 大 場 松 魚 |
| 5. 祝辞と乾杯 | 宗 田 市 太 郎 |

◇大場松魚さん作品展観

出品者

成 瀬 栄 蔵 越 野 民 男 山 岸 与 作

◇参加者

浅 田 豊 久	出 島 敬 識	平 尾 信 明
本 江 他 美 男	上 次 作	笠 間 恒 次
小 林 隆 二	小 杉 守 男	小 杉 善 二
水 野 博	宗 田 市 太 郎	岡 田 林 太 郎
大 村 精 二	清 水 忠	高 田 全
土 原 一 二	釣 見 栄 一	若 野 三 郎
山 岸 与 作	吉 山 宥 海	

◇世話人

成 瀬 栄 蔵 越 野 民 男 柴 田 三 郎

城北地区開発促進同盟会

◆5月31日午後5時～ ホワイトハウス

出席者 宗田、岡田、越野、浅田、長野、山岸、出島、中村、二木、上田 計10名

第183回例会

- ◆ 6月2日(木)曇り ホワイトハウス 12:30~13:30
- 1. 講話 映画『山のこだま』
- 2. 出欠 出席31名、欠席14名、出席率68.89%
ビジター19名
- 3. 来訪者 山口RC 空閑格君(建築設計)
防府RC 半田敦君(メタルサッシ)
砺波南RC 吉江正一君(貴金属)
金沢RC 坪野俊雄君、富木昭光君
北川晶夫君、内田一君、江川昇君
金沢東RC 山本一司君、小野徳治君
加藤義一郎君、前村度明君
小菅正夫君、東高熙君、保田肇君
金沢西RC 秋常外喜雄君
金沢南RC 小堀外茂次君
佐々木康雄君、高桑明君
- 4. 会務 ○新企画委員会 本日例会終了後
○例会委員会 炉辺会合
6月9日(木) 午後6時より
於 本江会員宅
○国際奉仕委員会
マチド・プログラムについての報告
- 5. 幹事報告 ○例会変更お知らせ
6月30日(木)→恒例により夫人同伴例会
午後6時30分
○1977~78年度委員会編成の発表
- 6. 御誕生日祝 越野民男君、加藤悦大君、松本智君
桜井健太郎君、庄田厚郎君、増江泰君
- 7. 御結婚記念日祝 越野民男君、由井賢一君
- 8. ニコニコBOX 先日浅野川畔で開かれた小川宏シ
ョーに出させて頂いて、その出演料を
土原弘子夫人
- 9. 今日のニュース 事件発覚以来、1年4ヶ月、姿
を見せなかったロ社秘密代理人、児玉
誉士夫の初公判が開かれ、起訴事実の
大半を否認す。本筋解明へ向けての攻
防、いよいよ本番へ。

第184回例会

- ◆ 6月9日(木)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30
- 1. 講話 “なれとけじめ”
石川県織維課長
喜田惣一郎氏
- 2. 出欠 出席29名、欠席16名
出席率64.44%
ビジター22名
- 3. 来訪者 金沢RC 小松暁一君
加藤豊信君
角間喜一君
中村栄俊君、中田雄次郎君
加藤晃君、宮村利雄君
金沢東RC 石動隆信君、矩幸成君
米沢秀男君、辻安伴君、山本一司君
田川克次君、保田肇君、浅田裕久君
金沢西RC 太田辰巳君、寛国彦君
進藤太一郎君、新村利夫君
金沢南RC 川原善一君、清水礼二君
岩崎善四郎君
- 4. 会務 ○新国際奉仕委員会
6月16日(木)例会終了後
○社会奉仕委員会
「ロータリーの森」くわ入式報告
6月3日(金) 午後2時~
於 厚生年金会館
- 5. 幹事報告 ○次年度各委員長さんへ
事業計画案を6月末日までにご提出下
さい。
○金沢5RC都市安全委員長会議
本日例会終了後
於 ホワイトハウス会議室
- 6. ニコニコBOX ○城北地区開発促進同盟会提唱の武
道館の建設を請負うことに決定致し
岡田林太郎君
○味の十字屋松任店並びにレストラン新
築オープンの内祝として 平尾信明君
- 7. 今日のニュース 輪島沈金の人間国宝、前大峰さ
んが亡くなられた。生涯あくなき努力
によって沈金技術を芸術価値高いもの
にしたその功績は余りにも大きかった。



5月例会出席状況

出席率(100%)

会員名	月日					5月	会員名	月日					5月
	5/5	5/12	5/19	5/26	5月			5/5	5/12	5/19	5/26	5月	
浅田豊久		M	M	○	◎	大海徳二		M	M	○	◎		
出島敬識		M	○	M	◎	大村精二		○	○	○	◎		
東元潔		○	M	○	◎	桜井健太郎		○	○	○	◎		
平尾信明		○	○	○	◎	沢田哲夫		M	○	○	◎		
本江他美夫		○	○	○	◎	柴田三郎		○	○	○	◎		
二木正樹		M	○	○	◎	清水水忠		○	○	○	◎		
上間次作		○	○	○	◎	塩村喜代次		○	○	○	◎		
笠間恒次		M	M	○	◎	庄田厚郎		○	○	M	◎		
加藤悦大		○	○	○	◎	高田全吉		○	○	○	◎		
木島光仁	休	○	○	○	◎	俵外代吉	休	○	○	○	◎		
小野隆二		M	M	○	◎	土原一成一		○	○	○	◎		
越野民男		○	○	○	◎	佃見栄一		M	○	M	◎		
小杉守善	会	○	○	○	◎	釣野栄三	会	○	○	○	◎		
小江泰智		○	M	○	◎	上野忠信		○	○	○	◎		
増本博		○	○	M	◎	若山啓介		○	○	M	◎		
松野市太郎		M	○	○	◎	山岸沢繁		M	M	M	◎		
水野幸雄		○	○	○	◎	米沢修		○	○	○	◎		
宗田市三		○	○	○	◎	米吉田		M	M	M	◎		
長野省三		○	○	○	◎	吉井山		M	○	○	◎		
中大場勝郎		○	M	○	◎						◎		
岡部三郎		○	○	M	◎						◎		
岡田林太郎		○	○	○	◎						◎		